

多チャンネルのHD化と帯域確保のためのACAS配信サービス導入／ACASマイグレーションにおける準備と戦略

ACAS対応STBの設置が全国的に増加してきており、将来的にC-CASからACASへの切り替え（以下、ACASマイグレーション）が必要となることは各ケーブル事業者様でも課題となっている。

しかし、実際ACASマイグレーションを開始するための準備など、何から着手すればよいのかは各ケーブル事業者様によって大きく異なるため、検討に時間を要するのが現状である。

今月号ではACAS配信サービスの導入およびACASマイグレーションを開始するにあたって検討された背景、戦略、準備と導入後の状況について、株式会社多摩テレビ（以下、多摩テレビ）様の事例をご紹介します。

株式会社多摩テレビ様の事例



多摩テレビ様では、昨年10月から当社のACAS配信サービスを導入していただいております。今月でちょうど1年が経過する。導入するにあたって検討された背景、戦略から現在の状況まで様々な情報を事業部事業課長の渡邊 穰（わたなべ ゆたか）様に伺った。

【事業部事業課長 渡邊 穰 様】

■ACAS配信サービス導入を検討した背景

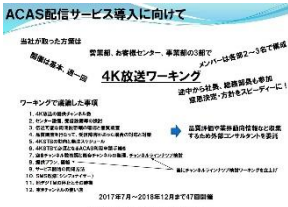
多摩テレビ様では、多チャンネルサービスの加入者数増加を目的としたHD化がきっかけであったという。SDチャンネルを中心に多チャンネルを提供していることが、加入者数が伸びない要因の一つではないかと考え、訴求力向上のためにHD化が必要という結論に至った。

しかし、C-CAS配信サービスのチャンネルはTSに依存するため、当時の多摩テレビ様の空き帯域では限られた帯域で効果的なチャンネル選定が必要であった。

その中で、工夫すればすべてHDや4Kで提供できるのではないかという考えに行きつき、各種情報収集を開始された。

■4K放送ワーキングの実施

4K放送から開始されるACASとは何か？といった観点でACAS関連の情報収集を進める中、HD化が容易になる情報も手に入れたが、帯域整理等様々な課題が出てきたこともあり営業部、お客様センター、事業部の3部合同の「4Kワーキング」という会議を設け毎週1回のペースで議論を行われた。



【4K放送ワーキング】
※クリックで拡大できます

4K放送ワーキングでは帯域整理や4Kの提供チャンネル数、サービスプラン、SMS改修や伝送設備など多くの事項について議論され、2017年7月～2018年12月までで47回開催したという。

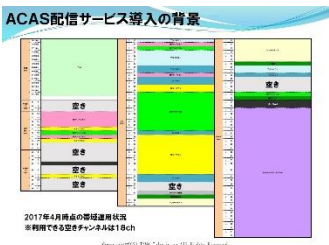
■地デジトラモジ終了による帯域整理

4K放送ワーキングで精査した結果、地デジトラモジを終了することで7帯域分確保できることが分かり、ACAS配信サービスの採用チャンネル数増加のため帯域整理を実施することを決定された。

まずは地デジトラモジ終了時期を検討当時の1年後となる2018年7月と設定し、対象STBの洗い出しから取り組んだという。対象STB選定後は速やかにSTB交換や設定変更、HEダウンドロードなどで順次対応を進め、設定した終了期日を延ばすことなく地デジトラモジを終了することができたという。

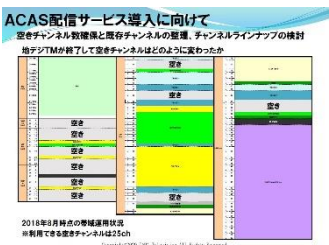
これにより当初よりも7帯域多い25帯域を確保することに成功された。
※この後2018年9月に地デジの放送大学が終了し空き帯域は合計26帯域となった。

【地デジトラモジ終了前の帯域】



※クリックで拡大できます

【地デジトラモジ終了後の帯域】



※クリックで拡大できます

■チャンネルとCASの選定

多摩テレビ様では帯域整理で確保できた26帯域を使って新4K8K衛星放送の対応と、多チャンネルHD化の2点に焦点を当ててチャンネル選定の検討が始まった。



【ACAS採用時の帯域】
※クリックで拡大できます

新4K8K衛星放送に対応した場合、残りの空き帯域ではC-CAS配信サービスで採用できるHDチャンネル数が不足すると判断。

一方でACAS配信サービスの場合は予備の帯域確保も可能となることや、新4K8K衛星放送の4K BSでは放送していないJ SPORTSの4Kを提供することを外せない条件として加えたこともあり、ACAS配信サービスを導入する方針となった。

■ACAS配信サービスの戦略

多摩テレビ様のサービス戦略として、C-CASで販売していた多チャンネルコースの新規受付を終了し、新たにACASのみの新コースを販売することとした。

また、STBのラインナップの変更も行い、すべて4K-STBのみの提供となった。

これにより、多摩テレビ様の販売コースはすべて4KチャンネルとHDチャンネルで提供可能となり大幅なサービス向上につながった。また、新規加入獲得したSTBはACASのみで運用ができるため、ACASマイグレーションも既存C-CASの巻き取りのみとなり期間短縮、将来的なコスト削減効果が望めるようになった。

導入から1年が経過して

■ACAS配信サービスを導入して変わったこと

サービス導入当初はこれまでのC-CAS放送サービスと異なり、HEVC（ACAS配信サービスにおける圧縮方式）のLAN録画不可、ホームサーバーの制限など放送種別の違いによる各種機能の利用可否についての確認および加入者様への説明に時間と労力を要していた。



【重要事項兼申込書】
※クリックで拡大できます

説明を受ける加入者様としても非常に負担が大きいため、多摩テレビ様ではこれら重要事項をまとめたシートを作成し加入者様宅への送付などでフォローすることを実施、双方の負担を軽減する対策を講じられている状況だ。

新しいサービスでありながら、C-CASとACASの違いは加入者様側からすると非常に分かりにくいものであるため、多摩テレビ様のように加入者様を丁寧にフォローし、細部まで行き届いた対応をしていくことがスムーズな導入へ繋がるだろう。

■加入者様からの反響

4Kチャンネルの提供や多チャンネルのHD化をしたことで加入者様からこれまでと異なった反響があったという。

一番大きな反響があったのは、やはりTVの画質に関する声であった。これまで多摩テレビ様ではSD画質に対して加入者様から不満の声が多くあったのだが、サービス向上により4KやHD画質に対する喜びの声や、スポーツ番組等の動きが激しい映像もより鮮明になったことで見やすくなったというご意見を多くいただいたようだ。

また、一方で4Kコンテンツが少ないという不満の声も一部あったようだ。多摩テレビ様では4Kコンテンツはケーブル4Kの有無で訴求力が変わるとして、今後HDコンテンツだけでなく4Kコンテンツの訴求も重要と考えている。

■今後の戦略について

多摩テレビ様ではACASマイグレーション10年ほどの計画になることを想定されており、それに向けて4K-STBの顧客増につなげるよう、4Kコンテンツの充実や次期4K-STBの価格設定など様々な取り組みを視野に入れている。

今年は新型コロナの影響もあり思うように加入獲得が進んでいない状況とのことだが、PR方法の見直しなど更なるアクションに向けて検討されている。

おわりに

弊社としても来年度以降さらにACASマイグレーションを検討されるケーブル事業者様が增多すると考えております。

ケーブル事業者様によってご検討の時期やきっかけ着手する優先度など異なるため、ご不明な点やご相談等あれば弊社営業担当までお問い合わせいただきたいと思います。

みるプラス

10月のオススメ

みるプラス10月のオススメはこの3作！
1)「2gether」(9月30日 配信)
主人公タインがゲイの同級生からの猛アタックを回避するため、学校一のイケメン、サラワットに彼氏のフリを依頼することから始まる。冷たくぶっきらぼうなサラワットが見せる、「恋人を気に掛けるフリ」、「愛の言葉をささやくフリ」にあなたも翻弄される！？
2)「スマホを落としただけに 囚われの殺人鬼」(10月7日 配信)
日本中を震撼させた“あの”衝撃作が“まさか”の続編映画化！一度狙われ、個人情報流出したら、その連鎖は止まらない……。
3)「ストーリーオブマイライフ／わたしの若草物語」(9月30日 配信)
南北戦争時代に力強く生きるマーチ家の4姉妹が織りなす物語を、作家志望の次女ジョーを主人公にみずみずしいタッチで描く。彼女たちに自分を重ねながら楽しめるような作品です。
今月もみるプラスでお楽しみください。



IP-STB

機能追加のご案内

9月14日にソフトウェアのファームアップを行い、新たに下記機能に対応しました。
1) みるプラスアプリ対応
Android TV対応のみるプラスアプリがプリインストールされました。リモコンのVODボタンでみるプラス画面が立ち上がるようになりました。
※納品済み、設置済みの製品に関しては手動でアップデートしていただく必要があります。
※アップデートはホーム画面の通知欄から可能です

2) Dolby Atmos対応 (※Netflixのみ)
臨場感のある音響効果を楽しめるDolby Atmosに対応しました。
※お楽しみいただくにはTV、スピーカー等もDolby Atmos対応製品が必要になります。

3) リモコンのペアリング画面改変
初期セットアップ時のガイド画面がさらに分かりやすくなりました。

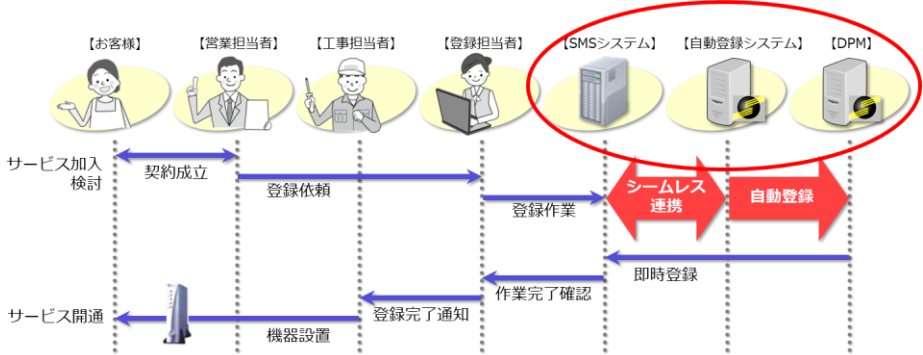
4) リモコンのEXITキーの機能追加
EXITキーを押下することで素早くホーム画面に戻れるようになりました。
今後もケーブルテレビ事業者様に貢献できるよう、機能追加対応を検討いたします。IP-STBに関するご質問等がございましたら、弊社営業担当か下記アドレスへお問い合わせをお願いします。
ご連絡先：ip-stb.contact@jdserve.co.jp

業務支援サービス

DPMサービスの主要機能④

DPMサービスは、下記機能も提供しております。
■IPv6対応
DPMサービスはIPv6へも対応済、貴社のIPv6への移行に貢献します。

■SMSシームレス連携機能 (API提供)
APIの提供を行っておりますので、APIを使用してSMSとDPMを連携して頂くことによって下記が可能になります。
1.自動登録システムによる、二重登録作業廃止で運用負荷が軽減。
2.SMSとDPMにおけるデータの差分発生防止。
3.サービス開始までリードタイムの短縮化。



ケーブル4K

10月のオススメ

1)「ケーブル4K」採用事業者情報について
■2020年10月1日時点：76事業者

2)「ケーブル4K」10月の編成情報について
①【鉄道の日特集】のんびり鉄道旅

10月14日は鉄道の日！ということで10月は鉄道番組全28本を放送。鉄道の歴史や沿線の風景、個性的な駅など、鉄道の魅力を様々な角度からたっぷり紹介します。
お家でのんびり、鉄道旅をお楽しみください！

②【新番組】石田靖とぶらりで笑 (ショー)

吉本新喜劇でおなじみの石田靖が毎回異なるゲストと三重・滋賀・和歌山などを訪れ、地域の魅力・観光スポット・歴史を笑いと共にお届けします。
記念すべき第1回目のゲストは、こちらも新喜劇でおなじみの島田珠代さん。

その他オススメ番組や編成情報については、以下HPをご参照ください。
■ケーブル4K公式HP：<http://www.cable4K.jp/>

ご当地映像 (自然の風景や名所旧跡など) 募集のご案内



10月からケーブル4Kは24時間放送となりました。
これまで放送していなかった深夜2時から朝6時までの4時間には、番組名「ふるさと」と題し、全国各地の美しい自然、情緒あふれる街並みや名所旧跡などを自然の音そのままや心地よいBGMにのせてお送りします。
10月は長崎県、三重県、滋賀県の「ふるさと」を放送。11月以降も全国各地の「ふるさと」を視聴者へお届けしていく予定ですが、まだまだ本数が不足しています。
そこで、全国のケーブル事業者様から「ふるさと (ご当地映像のフィラー)」を募集いたします。番組尺は30分としており、番組完パケもしくは映像素材のみの提供でも結構です。ケーブル4Kで全国へ向けて放送したい「4Kのご当地映像」がございましたら、ぜひ弊社までご提供ください。
※お問い合わせは弊社営業担当までお願いします。

物販

富士ソフト モバイルルーター FS040W

地域BWAにも対応！
ホームルーターにもモバイルルーターにもなる！

条件不利地域でも、お好みのSIMでインターネット利用可能。ホームキット接続で、LANの通信速度、安定性、接続台数も向上！

■工事いらずで、置くだけでWiFi！
在宅ワーク用や、“URLフィルタリング”を設定しお子さん用など、ご自宅回線としての導入にとっても便利です！もちろんモバイルルーター利用も可能です！

■使い勝手に優れた電源機能で、安全・安心・便利に！
“バッテリーレス”運用で、バッテリー劣化を気にせず自宅で常時稼働させることが可能です。また給電機能により、外出時の“緊急電源”としてもご利用可能です！

